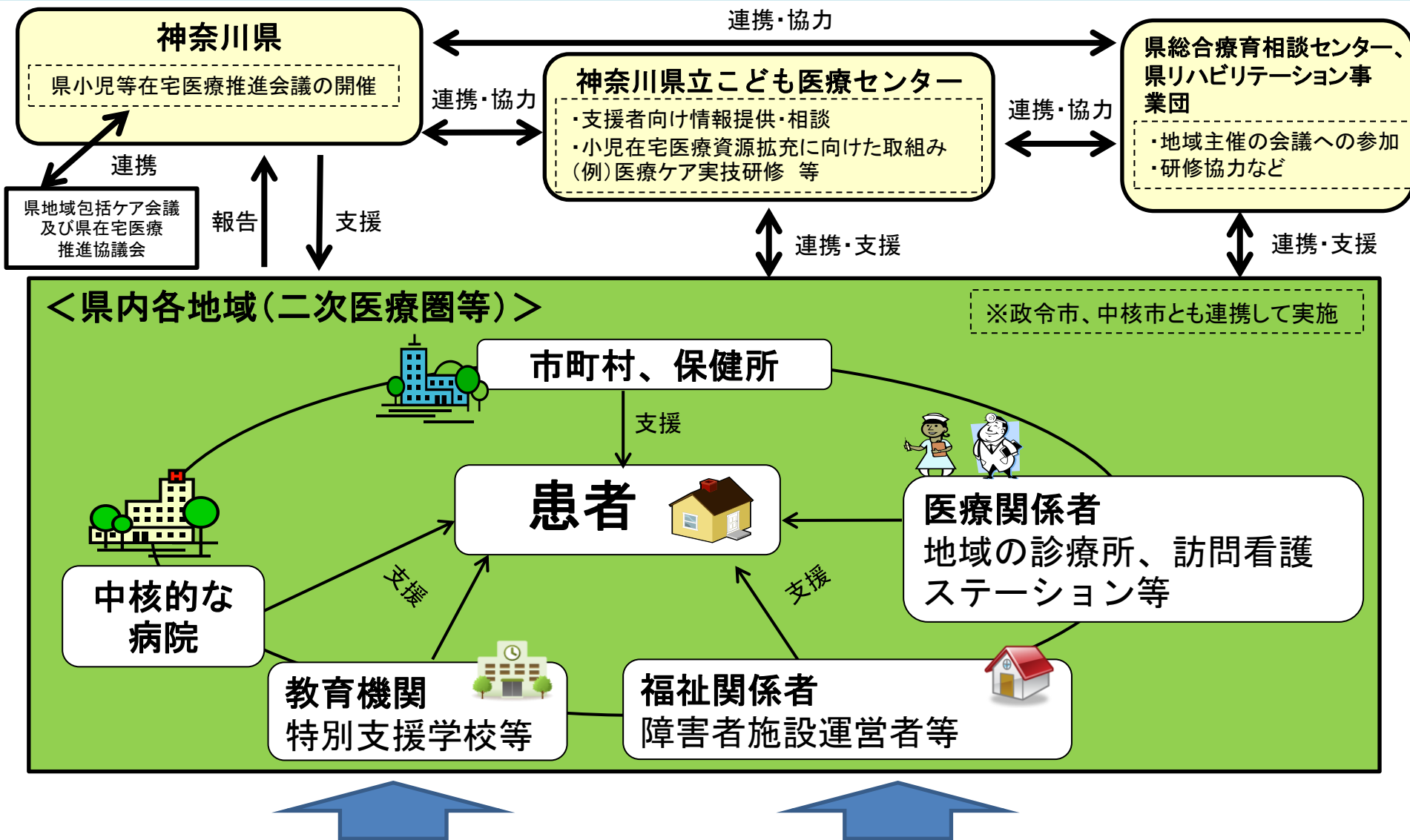


茅ヶ崎地域のモデル事業の全県展開に 向けた方策と今後の進め方について

小児在宅医療に係る神奈川県を目指す姿のイメージ

2



【地域での取組み】

・協議の場の運営、実態調査、各種研修会、交流会、ケースカンファレンス など

茅ヶ崎地域のモデル事業の見える化



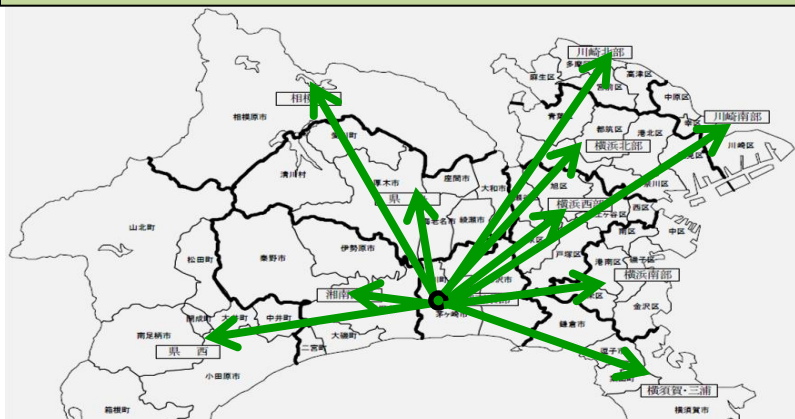
【地域での取組内容】

- ① 会議の設置
 - ② 課題の抽出
 - ③ 解決策の検討
 - ④ 茅ヶ崎地域の取組内容を策定
 - ⑤ 取組みの実施
 - ⑥ 進捗管理、取組内容の修正
- 26年度
- 27年度～

成果を報告書として取りまとめ【平成27年度】

地域における支援体制構築の事例として他の地域で活用を目指す

他の地域への展開イメージ



各地域で協議の場を設置を目指す

【方向性】

- 平成28年度以降、茅ヶ崎地域の取組みを他の地域へ展開する。
- 地域の設定に際しては、地域の中核的な役割を担う病院がある二次医療圏等の単位で検討することが考えられる。
- 茅ヶ崎地域の事例を参考にしながら、まずは、行政がリーダーシップを取り、協議の場の設置から始め、地域での合意形成、支援体制の構築を目指す。

県央二次医療圏及び県西二次医療圏への展開

【県央二次医療圏】

- 核となる地域の病院が関心を持っていること。
- 『重症心身障害児者実態調査報告書』(H23.3.17 県中央児童相談所)から、小児在宅の対象者が多いと見込まれる。
- 地域の意向により、厚木市域を中心に厚木医師会単位で立上げ予定

【県西二次医療圏】

- 訪問看護の利用率が他圏域に比べて4割と低く(同上報告書)必要とする人に支援が結びついていない可能性がある。
- 地域と相談し、1市3町(小田原市、箱根町、湯河原町、真鶴町)の小田原医師会単位で立ち上げ予定

28 年 度	厚木地域 ・ 小田原地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の抽出 ・課題解決に向けた課題に対する実施可能な取組内容を発言 →課題解決に向けた取組内容を抽出 ・「平成28年度に地域の関係機関が行う小児在宅に係る取組内容(案)」を策定(予定)
	茅ヶ崎地域	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度 of 取組内容進捗確認とともに地域の課題や解決策を検討(予定)【自主的な取組み】



県小児等在宅医療推進会議(3月)(※)

- ・厚木、小田原地域の取組みの共有
- ・全県展開に向けた方策を検討

(※)平成28年度の会議の構成委員については、他の地域の取組み意向などを踏まえて今後検討する
(平成26年度～平成27年度はモデル事業を開始したため、茅ヶ崎地域の関係機関を中心に選定)